

## 材料工学委員会（第 26 期・第9回） 議 事 要 旨

I 日 時 令和6年12月27日（金） 9：00～12：00

II 会 場 日本学術会議 6-A会議室（1）及びオンライン会議

III 出 席 出席39名（現地7名、オンライン32名）、欠席11名、参考人 1名

### IV 議 事

（1）前回議事録の確認（岸本委員長）

第7回材料工学委員会の議事録（資料1）を確認し、異議なく承認された。

（2）科学者委員会学術研究振興構想報告（森田委員）

令和6年10月22日に開催された科学者委員会学術研究振興分科会において報告された未来の学術振興構想について、学術フォーラム、アンケート結果、同分科会の活動方針案等を中心に説明があり、質疑応答を実施（資料2）

（3）関連分科会活動報告について

・バイオマテリアル分科会（埴委員長）

10/29公開シンポジウム、等報告。意思の表出を予定

・サーキュラーエコノミーのための資源・材料の循環利用検討分科会（笹木委員長）

公開フォーラム（11/22）。「見解」を提出予定

・材料工学中長期研究戦略分科会（埴委員長）

未来の学術振興構想のうち、材料工学関連分野を取りまとめ中。意思の表出を検討中

・新材料デザイン検討分科会（中野貴由委員長）

分科会にて意思の表出を含め検討予定

・将来展開分科会（尾崎）

材料分野での「研究インテグリティ」の現状についてアンケートと調査を実施し、意思の表出を検討中

・水素科学WG活動について（折茂委員）

WGの設置主旨説明があり、設置について承認。物理委員会主催の公開シンポジウムも予定。今後は委員会を横断した分科会等の設置を目指し、活動予定

・ダイバーシティWG活動について（中野裕美委員）

ダイバーシティに関する現状について、アンケート要請（2次元バーコード）

（4）講演：「研究力の向上を目指して」（第25期研究力委員会委員長 山口 周先生）

上記委員会の活動を中心に、材料工学分野に関わる研究力後退に関する状況（課題）結果と要因解析結果について紹介され、委員と意見交換を実施した。

（5）その他

・学術会議の独立法人化について、検討が進められているが、今後も進捗情報を共有予定（岸本委員長）

< 資料 > (配布・画面共有)

資料1：前回議事録

資料2：科学者委員会学術研究振興分科会活動報告（森田幹事）

資料3：関連分科会活動（各委員長）

資料4：水素科学WG活動（折茂委員）

資料5：12月27日ダイバーシティアンケート依頼（中野裕美委員）

資料6：：材料工学委員会ヒアリング調査に対する回答

（我が国の学術の発展・研究力強化に関する検討委員会；令和6年12月4日）

（補足）講演資料は後日共有